

砂山

— 随想 —

(株)新潟総合テレビ
事業局長
古塩 充



ニイガタ検定の事務局を仰せつかり、無事2回目を終えることが出来た。実行委員会の先輩や問題作成にご尽力いただいた先生方、また応援してくださった皆様にはただただ感謝するのみである。先日「2級合格者の集い」が行われ、嬉しいことに

534名の合格者のうち120名の方々にご出席いただいた。すこぶる盛況な会であった。花ヶ前盛明先生の講演会は、貪欲な向学心に燃えた若い学生のように極めて真剣な眼差しと気迫に満ちていた。続く懇親会は熱気に包まれ、希望に溢れた自己

ニイガタ検定に想う

啓発や将来展望・地域貢献から社会改革案まで飛び出した。これが、八十代数名含む平均年齢六十歳を超える情熱とエネルギーなのか！と真に感心しながら私はその圧倒的な高揚感の中にいた。もちろん、会場には

若い人々も多数おられ活発な発言や貴重な提言もあり、その方々にパワーが感じられないという訳では決してない。老若男女の絶妙のバランスもあつたとは思ふ。

ところで、内憂外患矛盾に満ちた種々問題を抱える現今の日本であるが、この日集まった自由な精神世界を操る人生の達人は、心の空洞化を引き起こす社会のひずみの調和剤と成り得ると思つた。いや、世間はその知恵や見識を利用すべきではないか？活躍の場がないとすれば実に社会の損失ではないか？などと不遜にも独り言を発してしまった。来年は3回目、1級も実施するが検定範囲の「新潟市」を超えて期待ははるかに膨らむばかりである。